

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	地球学特論A (Introduction of Geoscience A)		
ナンバリングコード	R20217	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M009101	クラス名	-
担当教員名	池見 洋明		
履修上の注意、 履修条件	教科書を使用して授業を進めますので必ず指定された教科書を購入してください。		
教科書	地球学入門 第2版 惑星地球と大気・海洋のシステム 酒井治孝 著 東海大学出版部		
参考文献及び指定図書	応用地質、地盤工学会誌		
関連科目	環境情報学特別研究、環境情報学特別演習		

○基本情報		
授業の目的	地球環境問題、人口問題、エネルギー問題は現在、人類が直面している課題であります。またこれらの課題はここのものではなく、相互に関係している。このような問題を解決するためには、地球やそのシステムの知識が基本となる。この授業の目的は、我々の地球やシステム、特に地形やそれに関わる人間活動に関する知識を学び、人類が直面している課題に対して考察、議論できる素養を身に付けることにあります。	
授業の概要	この科目では、現代人のリテラシーの地球学として、第一章 惑星地球の環境、第二章 活動しつづける固体地球、第三章 大気・海洋の循環と気候変動、第四章 地球環境の変化と生物に進化、以上四部構成で行います。それぞれ発表して、それについてコメントします。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	双方向に授業に関わる積極性を持つ			20%
【ディプロマ・ポリシー②】	目的に応じた文章作成、地図などの利用や文献等の適切な情報を収集できる。		40%	
【ディプロマ・ポリシー③】	工学基礎力や専門知識を応用し、課題解決に向けて考察できる		40%	

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
レポートは課しませんが、担当箇所の発表資料を提出してください。形式は特に問いません。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	地球学特論A (Introduction of Geoscience A)	授業コード	M009101
		担当教員	池見 洋明		
学修内容					
1. ガイダンス					
教科書の説明、授業の進め方、担当決めを行ないます。およそ1章を2～3人で担当して、2～3コマで行なう予定です					
予習	研究調査の報告準備。				約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
2. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習	研究調査の報告準備。				約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
3. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習	研究調査の報告準備。				約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
4. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習	研究調査の報告準備。				約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
5. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習	研究調査の報告準備。				約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
6. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習	研究調査の報告準備。				約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
7. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習	研究調査の報告準備。				約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
8. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習	研究調査の報告準備。				約2時間
復習	研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間

○授業計画		科 目 名	地球学特論A (Introduction of Geoscience A)	授業コード	M009101
		担当教員	池見 洋明		
学修内容					
9. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
10. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
11. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
12. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
13. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
14. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
15. 調査発表、議論					
対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。					
予習		研究調査の報告準備。			約2時間
復習		研究調査報告に基づく研究内容の再検討。			約2時間
16.					
予習					
復習					